


ソーシャルインキュベーションラボ in 伊万里市

取組開始時期	2020年～	取組の カテゴリー	① 地域活性化	応募部門 (○を付ける)	○	PF会員間連携部門	一般部門
--------	--------	--------------	---------	-----------------	---	-----------	------

1. 団体名	地方創生SDGs官民連携プラットフォーム分科会「SDGs&ESG&CSVビジネスモデルと人材育成」	2. 連携先の 団体	佐賀県伊万里市◎青山学院ヒューマン・イノベーション・コンサルティング株式会社◎株式会社GAROO◎株式会社ソフィアコミュニケーションズ				
3. 取組目的	ソーシャルインキュベーションラボ活動は、日本各地に大学コンソーシアムを形成し地域住民と域外の大学生とが学びを通じて交流し、地域課題の解消を目的としたビジネスモデルを生み出すことを目的としています。			4. 関連する ゴール			

5. 取組経緯	佐賀県伊万里市では、市内に大学がないことから学生との交流、関係人口創出事業として、地域コミュニティ機能の向上や維持、地域ならではの新しいビジネス、働き方の創出を目的にソーシャルインキュベーションラボを設置し、域外である長崎県立大学・佐賀大学等から大学生、伊万里市の商工会議所青年部所属メンバー、農業従事者等、博多や東京、大阪など都市部から企業経営者らが参加し、第6次産業という新たなビジネスの可能性を模索するためのゼミを開催してきました。通算3回のゼミ開催の中で、年末の伊万里市商工会主催のイベントに出店が決まり、域外の大学生、域内の高校生、伊万里市、そして地場企業と都市部企業との連携により既存の特産品、農産物を活用した商品開発、商品企画、PRに取り組んでいます。
---------	---

6. 取組概要（100字以内） ※1次選考にて、投票ページに掲載します	ソーシャルインキュベーションラボ活動により、域外大学生、域内高校生、伊万里市、地場企業と都市部企業が連携し商品開発、商品企画、PRに取り組み、1000人の集客を目標に年末イベントを実施予定です。
-------------------------------------	---



取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

地域活性、交流人口の創出を目的とし、地域の遊休施設を活用したソーシャルインキュベーションラボの設置を行い、活動内容を展開しています。地域課題を解決することを目的としたビジネスモデルを生み出すことにより、持続可能な地域のあり方を発信してゆきます。

ステークホルダーとの連携

- ・都市部および地域の大学生のフィールドラーニングの拠点：学生による地域課題の抽出
- ・企業版ふるさと納税等を活用した都市部の企業の誘致（企業にとっては採用、新規事業開発のきっかけ）：都市部と地域の企業連携による地域課題の解決
- ・都市部の企業/専門家と地域住民との連携による地域資源の有効活用、地域情報の可視化/国内外市場へのPR発信：オウンドメディアを活用した国内外への情報発信/新規市場開発

モデル性・波及性

都市と地域を結ぶことにより持続可能なSDGs地方創生が期待でき、都市と地域のパートナーシップにより新産業クラスターの形成、雇用の創出が期待できます。ソーシャルインキュベーションラボでの好事例を作ることで、同モデルを全国に展開したいと考えています。

7.取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）



地域拠点

（ソーシャルインキュベーションラボ）

サテライトオフィス
マネージャー

伊万里市の商工会議所
青年部所属メンバー
農業従事者
都市部企業経営者
大学生



既存の特産品
農産物を活用した
商品開発

地域情報の可視化
と国内外市場への
PR発信

六次産業化ビジネス
実現のためのゼミ実施

目的：地域活性・交流人口の創出